

# きずな

## 札幌地区リーグ U12 2部 Dブロック

2部DブロックはHKD FOOTBALL CLUB U12 A、石狩FC U12レッド、篠路FC、元町FC、アブリーレ、札幌中央フットボールクラブ・美、RealizzareFC、西園・福井野GROW、SSLAVORO pivoの9チームで行われました。

各チームのスタイルを活かしたサッカーを展開する中、半年間で選手の成長が多く見受けられたリーグ戦でした。

優勝はHKD FOOTBALL CLUB U12 A。チーム全体が攻守において組織された中で、個人の特徴が存分に発揮されるサッカーを展開し、圧倒的な攻撃力を発揮しているのが印象的でした。得点数はリーグ1位の125得点、失点数も連動した堅い守りでリーグ最小5失点と、攻守に隙がなく15勝1分の無敗、勝点46で堂々の優勝でした。



惜しくも準優勝となったのは石狩FC U12レッド。リーグ戦前半は波に乗り切れていない印象でしたが、後半になるにつれてチームの連動が高まり、主導権を握る試合が多くなっていきました。無敗優勝のHKDにも唯一引き分けるなど、リーグ後半戦は上位対決で勝ち点を積み重ねていました。

最終結果はHKDの優勝でしたが、2位3位や4位5位6位などが隣り合う順位で最後までわからない、白熱したリーグ戦を行うことができました。

少年サッカーの育成において、年間を通してリーグ戦を実施することは非常に大切です。リーグ戦はいい時も悪い時もあります。選手はそのような経験の中で成功と失敗を繰り返しながら、サッカー選手として、一人の人間として大きく成長できました。

今年もコロナウイルスの流行がある中での開催となりましたが、全ての試合日程を消化することができました。運営面に関しては、石狩FCを中心に各チームの皆様が会場提供や担当役割を協力し、スムーズに試合が始められ、会場使用や駐車台数等でのトラブルもなく、円滑にリーグ戦を運営することができました。

リーグの運営にあたり参加チームの指導者・保護者の皆様のご協力により、無事に終えることができたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。